

休講期間延長にあたって、文系Ⅲ類の皆さんに国語演習の課題を課すことになりました。国語演習の授業では引き続き、小論文を書いたり漢字の小テストを行います。今回の課題は自己推薦文の作成です。不安な毎日が続きますが、未来に向けてしっかりと準備をしていきましょう。

【課題内容】自己推薦文を600字以上800字以内（400字原稿用紙を一枚半以上、二枚以内）

【用意するもの】原稿用紙

「学年別連絡」↓「講習動画・教材配布」↓（教材配布 国語）↓「文系Ⅲ類 国語演習 原稿用紙」から規定の原稿用紙を印刷してください。印刷ができない場合、市販の原稿用紙（400字原稿用紙を一枚半以上）を使用しても構いません。

【提出日・提出方法】初回授業に授業担当者に提出

【原稿用紙の使い方について おさらい】

原稿用紙の使い方にはいくつかルールがありました。もう一度そのルールを確認しましょう。

- 一、書き出しの最初は一マスをあける。
  - 二、改行したら、その行の一マスをあける。
  - 三、「だ・である」調と「です・ます」調のどちらで書いても良いが、どちらかで統一する。
  - 四、句読点（、や。）は行の初めに書かない。前の行末の文字と同じマスに書く。
  - 五、文字は一マスに一字書く。（「チャレンジ」と書くとき、「チ」と「ヤ」はそれぞれ別のマスに書く。）
  - 六、句読点に限らず、記号は一マスに一記号を書く。一マスに記号と文字とを同居させないように注意する。
- \*ただし、終わりを示すカギカッコを行頭に置かないというルールがある。そういう場合は、前の行末の文字と同じマスに書く。
- \*一マスに記号と文字は基本的に同居させないが、句点（。）と終わりを示すカギカッコは、それぞれ一マスずつ用いて書いても良いし、一マスに同居させても良い。

【注意】

この課題は提出時に100パーセントの出来を求めているものではありません。読み手がひきつけられるような書き方の工夫をしてください。当たり前のことですが、カタカナや固有名詞の乱用で字数を稼ぐようなこと、自分なことではなく誰かの書いた自己推薦文と同じ内容を書くことはしないでください。課題の意味を理解し、受験生であることを再度自覚し、真剣に取り組みしましょう。

課題作成にあたって

【重要】

志望大学（専門学校）に提出する出願書類には、基本の三セットがあります。それは、〈課題レポート・推薦書・自己推薦文（志望理由書）〉です。

課題レポートとは、大学側から与えられた課題について、自分なりの考えをまとめた文書のことです。ここでは、課題について取り組む姿勢・考え方が求められます。

推薦書は、学校から推薦してもらう文書のことです。

そして今回書いてもらう自己推薦文は、「自分を大学（専門学校）に推薦する文書」のことです。ここでは、なぜその大学に入りたいのかをアピールすることも重要ですが、まず今回の課題では「自分のことを知らない人も分かるように自分をアピールする文書」を作成してください。

それでは、伝わりやすい自己推薦文を書くための手順を紹介します。

一、自分のアピールできる点（強み・長所）を挙げる。

・アピールできる点を箇条書きで挙げましょう。

・ただ、人は他人の長所を挙げることはできても、自分の長所はなかなか挙げられないものです。思いつかない場合は、家族や友人との会話のなかに、あなたの長所を指摘するようなヒントがなかったか思い出してみましよう。それでも難しければ、逆に自分の短所を探し、それを克服しようと努力していることを長所とすれば良いでしょう。

・「明るい」だけでは自分の長所を最大限に相手に伝えることはできません。△「明るい」↓◎「どんなときでも前向きに物事に取り組むことができる」というように、より具体的にアピールできる表現を心がけましょう。

二、アピールできる点を一つに絞る。

・最も魅力的だと思うものを選びましょう。

・自分の魅力が最大限に相手に伝わるように意識してください。

三、四、五 アピールできる点である理由を考える。

・一番アピールできると思った具体的な例を挙げて、読み手が納得するように説明しましょう。

・読み手を納得させることを常に意識しましょう。高校生活での出来事や高校入学後に体験したことなど、昔のことよりも現在に近いことを挙げるほうが、「今のあなた」を伝えることができます。しかし、小学生のときから現在も続けていることがあれば、その経験について書くのも良いでしょう。読み手は、あなたがその物事に取り組む姿勢を知ることができます。

\*自己アピールというと「部活動で優勝した」「生徒会長を務めた」といった特別な経験や能力を示すことが必要だと考えてしまいがちです。しかし、自己アピールで求められているのは、そういった特別なことではありません。読み手（大学、専門学校側）が見ているのは、あなたの人物像やものの考え方を、あなた自身が理解しているかどうか、それを的確に伝えられているかどうかということです。

ですから、自分自身から見て自分がどのような人間であるか、自信をもってアピールしましょう。

【メモ】\*必要であれば、各自印刷して活用してください。  
一、自分のアピールできる点

私の強みは、

•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•

二、アピールできる点を一つに絞る

三、アピールできる点である理由〈経験〉

四、アピールできる点である理由〈その経験から感じたこと・学んだこと〉

(この経験により、)

五、アピールできる点である理由〈これまで述べてきた自身の強みを今後どのように生かしていきたいか〉

【メモ】\*必要であれば、各自印刷して活用してください。

一、自分のアピールできる点

\*とにかく思いつくことを書いてみましょう。

例

- ・緊急事態にも臨機応変に対応することができる。
- ・常に前向きに物事に取り組みることができる。
- ・ごはんをたくさん食べているので、体が丈夫。
- ・何事も諦めず最後まで取り組む。
- ・部活動では、メンバーや先生に信頼されている。
- ・挨拶やお礼を忘れずに言うことができる。

二、アピールできる点を一つに絞る

例 何事も諦めず、最後まで取り組む。

三、アピールできる点である理由〈経験〉

\*アピールできると思った理由を順序づけて具体的に書いてみましょう。三、四、五 を文章にしたものが、自己推薦文の内容となります。

例 陸上競技部で、短距離を専門としている。中学の頃は特に成績が伸び悩むことはなかったが、高校に入学

してから、タイムがどうしても縮まらず悩んだ時期があった。

周りのみんなは成長しているのに、自分は何も変わっていないと思い、とても焦った。

練習で手を抜いているわけではないのに、なぜ速く走れないのか分からず、自分に自信がなくなってしまった。

しかし、顧問の先生と決めた「全国大会に出場する」という目標はどうしても達成したかった。

←

そこで、ただ練習をこなすのではなく、走り方の見直しや最後まで走り切るための体力の強化を図ることにした。また、いいタイムが出ないことに愚痴や不満を漏らすのではなく、前向きな発言をして、チームの雰囲気明るくすることができるように心がけた。

←

その結果、二か月後の大会では、それまでのタイムを大幅に縮め、高校二年生のときに念願の全国大会に出場することができた。またその次の大会では、全国大会で入賞することができた。

四、アピールできる点である理由〈その経験から感じたこと・学んだこと〉

例 この経験により、私は諦めず取り組むことの大切さを知り、そのことが自分の夢の実現に繋がることを知った。

五、アピールできる点である理由〈これまで述べてきた自身の強みを今後どのように生かしていきたいか〉

例 現在は、教師になるという新しい目標がある。

←

これからも諦めずに何事にも取り組み、将来は諦めないことの大切さを生徒たちに伝えることのできるような教師になりたい。

\*自己推薦文で重要なのは、全国大会に出場する目標を達成したという結果ではなく、どのような努力をしたのか、結果から何を感じ、何を学んだのかということ。また、その学んだことを、今後どのように生かしていきたいかという所まで書くことができると、より説得力のある自己推薦文になります。